

# ◇◆◇ 宮城薬剤師学術フォーラム2014 プログラム ◇◆◇

日時：平成26年11月30日（日） 9:30～16:00

場所：東北薬科大学 70周年記念講堂

司会 富永敦子

9:30 開会挨拶 学術大会実行委員長 小野俊一  
大会長挨拶 宮城県薬剤師会会長 佐々木孝雄

## 口頭発表

### ◆ 9:40～10:20

座長 高橋弘幸

#### (1) 『生活保護受給者における後発医薬品変更への取り組み』

ひかり薬局大学病院前調剤センター ○佐藤弘幸、酒井英太、藤田尚弘、大上 満、中野良美、  
郡川悠子、加藤亜由美、日向幸恵、寺崎知枝

#### (2) 『薬局背景を踏まえての新しいインシデント率の算出方法についての考察』

シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社 ○大内一希、佐藤康雄、伊藤洋樹、佐々木陽平、高橋 功

#### (3) 『ツムラの漢方7製剤と飲食物の組み合わせにおける味覚試験

－消風散、麻黄湯、呉茱萸湯、四逆散、柴胡清肝湯、大防風湯、通導散に関して－  
ひかり薬局長町駅東 ○伊藤美子、太田晃子、佐藤奈穂子、佐藤貴紀、崎野健一

### ◆ 10:20～11:00

座長 藤田浩毅

#### (4) 『生薬の町・涌谷における地元薬局の果たすべき役割』

<sup>1)</sup>(株)アサヒ薬局 <sup>2)</sup>日本薬用植物友の会 <sup>3)</sup>NPO 薬用植物普及協会みやぎ <sup>4)</sup>生薬まちづくりの会  
○布施秀晃<sup>1)2)3)4)</sup>、加藤春江<sup>2)3)</sup>、福家文子<sup>2)</sup>、村上孝夫<sup>2)</sup>、草野源次郎<sup>2)3)</sup>、我妻邦雄<sup>2)3)</sup>

#### (5) 『小規模店舗における薬剤師在宅活動と地域連携のとりくみ』

<sup>1)</sup>つばさ薬局松陽台店 <sup>2)</sup>(有)みやぎ保健企画 ○佐々木菜穂<sup>1)</sup>、石橋結子<sup>1)</sup>、荒井正美<sup>2)</sup>、金田早苗<sup>2)</sup>

#### (6) 『残薬等の『事前確認』実施、および患者コミュニケーション改善に関する報告』

(株)メディカルコスモ リフレ薬局西多賀店 ○新家清隆、西村大資

## ポスター発表

### ◆ 11:00～12:00

#### (1) 『タブレット端末を活用した調剤の試み』

<sup>1)</sup>けやき薬局黒松店 <sup>2)</sup>有限会社ノア ○阿部直子<sup>1)</sup>、郷右近愛美<sup>1)</sup>、須江歌子<sup>1)</sup>、栗原千鶴<sup>1)</sup>、鈴木 亨<sup>2)</sup>

#### (2) 『東日本大震災における宮城県内の保険薬局の被害状況について

－宮城県薬剤師会の保険薬局を対象とした大規模アンケート調査より－

<sup>1)</sup>東北薬科大学薬剤学教室 <sup>2)</sup>宮城県薬剤師会 ○内金崎叡智<sup>1)</sup>、我妻恭行<sup>1)</sup>、佐々木孝雄<sup>2)</sup>、鈴木常義<sup>1)</sup>

#### (3) 『NMDA 受容体遮断薬 MK-801 誘発性記憶障害に対する緑茶成分テアニンの改善効果』

東北薬科大学薬理学教室 ○宮 昂平、中川西 修、根本 互、八百板富紀枝、丹野孝一

#### (4) 『Angiotensin II および III 誘発性疼痛関連行動の発現機序の解明』

東北薬科大学薬理学教室 ○日野 葉、根本 互、中川西 修、八百板富紀枝、丹野孝一

#### (5) 『長期実務実習で体験した高齢者の生活習慣病患者への服薬指導と文献学的考察』

東北薬科大学薬物治療学教室 ○関 恵里佳、富澤亜也子、蓬田 伸、菅野秀一、石川正明

#### (6) 『ヒト乳癌細胞株 MCF-7、ヒト前立腺癌細胞株 LNCap における Delphinidin による殺細胞作用 オートファジーの関与について』

東北薬科大学薬物治療学教室 ○菊地成美、富澤亜也子、蓬田 伸、菅野秀一、石川正明

#### (7) 『にきび患者に対する薬剤師のスキンケア指導の追跡調査』

シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社 ○瀬川千晶、伊藤洋樹、相澤恵理

#### (8) 『平成25年度医薬品計画的試験検査実施結果について』

<sup>1)</sup>(一社)宮城県薬剤師会医薬品試験センター <sup>2)</sup>同 医薬品試験委員会 <sup>3)</sup>同 前年度医薬品試験委員会  
○塩野まどか<sup>1)2)3)</sup>、青木良悦<sup>2)3)</sup>、小野俊一<sup>2)3)</sup>、石川正明<sup>2)3)</sup>、我妻邦雄<sup>1)2)3)</sup>、  
千田利彦<sup>2)3)</sup>、高橋文章<sup>2)3)</sup>、牛澤啓至<sup>2)3)</sup>、大向香織<sup>3)</sup>、高田秀之<sup>2)</sup>

◆ 12:00 ~ 13:00

ランチョンセミナー

座長 東北薬科大学 病態生理学 教授 大野 勲 先生

『病院薬剤師がのぞむ地域医療の多職種連携』

講師：神戸大学医学部附属病院 薬剤部長 教授 平井 みどり 先生

共催 大正富山医薬品株式会社

□ 頭 発 表

◆ 13:00 ~ 13:40

座長 宮城 昭一

(7) 『EGFR チロシンキナーゼ阻害薬の減量・中止に関する調査』

泉病院 ○渡邊将樹、坂総合病院薬局一同

(8) 『薬学実習生における腎臓病薬物療法についての意識調査』

東北薬科大学病院薬剤部 ○横山隼人、菊池大輔、石井 隆、三浦良祐、山田尚之、土屋節夫、畑中貞雄

(9) 『違法薬物分析を指向したLC-MSによる構造解析法の検討』

<sup>1</sup>東北薬科大学 <sup>2</sup>名城大学薬学部・大学院総合学術研究科

○加藤 創<sup>1</sup>、渡邊将樹<sup>1</sup>、菊池悠子<sup>1</sup>、栗屋麻実<sup>1</sup>、山下幸和<sup>1</sup>、原田健一<sup>2</sup>

◆ 13:40 ~ 14:20

座長 川守田 節男

(10) 『宮城県における学校薬剤師と病院薬剤師の連携による性感染症の予防啓発を進めるための基礎的調査』

<sup>1</sup>国立病院機構仙台医療センター <sup>2</sup>国立国際医療研究センター病院 <sup>3</sup>広島大学病院

<sup>4</sup>公益財団法人エイズ予防財団 <sup>5</sup>国立病院機構姫路医療センター

○阿部憲介<sup>1</sup>、佐藤麻希<sup>2</sup>、畝井浩子<sup>3</sup>、小山田光孝<sup>1</sup>、神尾咲留未<sup>1</sup>、

塚本琢也<sup>1,4</sup>、鈴木智子<sup>1,4</sup>、伊藤俊広<sup>1</sup>、吉野宗宏<sup>5</sup>、木平健治<sup>3</sup>

(11) 『ヘルスプロモーションの取り組み一介護・転倒予防体操教室 3回シリーズ』

<sup>1</sup>(有)みやぎ保健企画 つばさ薬局こごた店 <sup>2</sup>宮城厚生協会坂総合クリニック (運動療法士)

○辻 順子<sup>1</sup>、足利知弘<sup>1</sup>、行方啓文<sup>2</sup>

(12) 『一般社団法人仙台市薬剤師会の「認知症患者およびその家族への支援活動アクションプラン」ワーキンググループの活動について』

一般社団法人仙台市薬剤師会

○堀江さなえ、栗原千鶴、桑島邦彦、佐々木 雄、佐藤晋介、志田 満、高橋奈三、

矢尾板和弘、三浦 翔、山上忠克、江川伸一

◆ 14:30 ~ 16:00

パネルディスカッション

座長 宮城県薬剤師会 副会長 青木 良悦

宮城県薬剤師会 理事 金田 早苗

『地域における多職種連携の取り組みについて』

パネリスト：塩釜ケアマネジャーネットワーク 会長 後藤 直 先生

「薬局(薬剤師)との地域連携～ケアマネジャーならではの意見から～」

坂総合クリニック 在宅医療室 高橋 真由美 先生

「当クリニック在宅医療室における多職種連携」

ほなみ薬局 千田 利彦 先生

「薬剤師から見た多職種連携」

◆ 書籍展示(丸善株式会社) (7Fロビー)

16:00 大会長賞表彰 宮城県薬剤師会 会長 佐々木孝雄

閉会挨拶 宮城県薬剤師会 副会長 青木良悦